

セッション2

災害対応力を強化する 女性の視点

本セッションの目標と学習内容

目標

- 災害の各段階の主要な活動について、男女共同参画の視点を組み込んだ取組ポイントを理解する
- ガイドラインを、平常時・災害時にうまく活用できるようになる

学習内容

- セッション1の振り返り
- <初動段階> に起こる主な課題と対応ポイント
- <避難生活段階> に起こる主な課題と対応ポイント
- <復旧・復興段階> に起こる主な課題と対応ポイント
- ここから始める「平常時の取組」

学習の進め方

本セッションでは、

「災害対応力を強化する女性の視点
～男女共同参画の視点からの防災・復興
ガイドライン～」をサブテキストとして
参照します

ガイドラインの第2部の主要な活動に焦点をあて、
女性の視点を組み込んだ取組について学びます

スライドの右肩の  のマークは、ガイドライン
の該当ページです。もっと詳しく知りたいと思っ
たら、是非参照してください



- <構成>
- 第1部 基本的な考え方
 - 第2部 段階ごとに取り組むべき事項
 - 第3部 便利帳

ガイドライン第2部の参照ポイント

段階ごとに取り組むべき事項 初動段階

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

15 災害対策本部

- 地方公共団体の災害対策本部の構成員に女性職員を配置する。
- 男女共同参画担当部局を所管する構成員は、本ガイドラインに盛り込まれた事項への対応について、本部において、情報提供や問題提起等を行う。
- 地方公共団体の災害対策本部の構成員となる男性職員に対しては、女性職員とともに、本ガイドラインに盛り込まれた事項について、研修等を通して理解を深める。
- 地方公共団体の災害対策本部の下にチームなどの下部組織を構成する場合には、必ず、男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの職員を配置する。

<災害対策本部では女性構成員が少ない>

熊本地震の災害対策本部構成員を男女別で比較すると、県と市町村の両方において、女性比率は5%前後と低くとどまっています¹⁸。

初動段階の取組に女性の視点を反映させるためには、地方公共団体の災害対策本部や下部組織、事務局組織への、女性の参画や、男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの職員が配置される必要があります。

男女共同参画担当部局を所管する構成員は、本部の場において、女性の視点からの必要な対応について情報提供や問題提起を積極的に行い、迅速かつ的確な対応を促すことが必要です。また、構成員に指定されている者に対して、継続的に、女性の視点からの災害対応に関する研修等を行い、認識を深めておくことが、災害時の迅速で適切な判断や、迷やかな取組につながります。

地方公共団体の災害対策本部に女性の視点を組み込むために、女性が就くことが多い、男女共同参画担当部局長、男女共同参画センター長、保健師や保育所長等を構成員に指定することが有用です。また、本部の下に避難所対策等のチームを設置する場合には、男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの職員を配置することが重要です。

<災害対策本部に女性の視点があることで効果的な支援が行える>

岡山県倉敷市では、平成30年7月豪雨の際、避難所対応に女性の視点からの対応を行うため、初動段階から市の災害対策本部に男女共同参画担当部局の常駐の席が設けられました。それにより、避難所で女性が必要とする物資の聞き取りや、性暴力防止や相談窓口の周知を早期から行い、女性の視点からの避難所の環境改善につながりました。

熊本地震の災害対策本部構成員の男女別比較（常勤、最大時）

地域	男性 (%)	女性 (%)
県	94%	6%
市町村	96%	4%

18 内閣府男女共同参画局「男女共同参画の視点による平成28年熊本地震対応状況調査報告書」（平成29年3月）

段階

（平常時の備え／初動段階／避難生活／復旧・復興）

取り組むべき主体

（市町村には特別区を含む）

取り組むべきポイントを簡潔に示す

解説や事例を簡潔に紹介

セッション1 「防災になぜ男女共同参画の視点が必要なのか」 振り返り

<取組の進め方>

あらゆる防災施策に男女共同参画の視点を入れる

災害時／平常時

意思決定／現場に
女性が
参画する

男女共同参画部局・
男女共同参画センターと
連携する

災害時／平常時

女性リーダーを
育成する
男性への**理解促進**
を図る

平常時

どうする？ 災害時の対応

災害の各段階に沿って、
あなた自身のこととして
どのように対応するとよいのかを
考えながら学びましょう

<初動段階>

災害対策本部における体制の確保

あなたは、ある市の「防災課長」です。
3か月前に着任しました。

いざ、災害が起きたら、
被災者の立場に立った対応を行いたい。

繰り返し起こる問題を防ぐためには
男女共同参画の視点を組み込んだ対応が不可欠！
と考えています。

PM 01:05

マグニチュード7.3 大規模地震発生



組織が一丸となって災害対応にあたる中、
あなたはいくつかの課題に気づきました



地域防災計画には、
**男女共同参画や
女性被災者への
配慮について
書かれていない**



男女共同参画や
女性の問題について
相談しようとしても、
**男女共同参画担当は
市民対応をしている**



TVや新聞では
女性の被災者の問題が
報道されているが、
**本部には
そのような情報は
上がってこない**

Q

被災者への支援を強化するために、本部の下部組織として避難所支援チームを立ち上げましたが、またいくつかの課題に気づきました

!

編成した
避難所支援チーム
の中に
女性職員が少ない

!

避難所に
派遣されてくる
避難所運営職員の
ほとんどが男性

!

男女共同参画
センターと
連携できていない

あなたはどうか対応しますか？

一旦、動画を停止し、ワークに取り組みましょう

15 「災害対策本部」の取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

- 災害対策本部の構成員に、**女性職員を配置**する。
- 男女共同参画担当部局を所管する構成員**は、ガイドラインに盛り込まれている事項への対応について、**本部に情報提供・問題提起**する。
- 避難所運営チームなどの災害対策本部の**下部組織**には、**必ず、男女共同参画担当部局や男女共同参画センターの職員を配置**する。

好事例 岡山県倉敷市 災害対策本部の体制・女性職員の参画

初動段階から、市災害対策本部に**男女共同参画課の職員が常駐**
避難所運営チームを作り**男女共同参画の視点から支援**

- 発災は、平成30年7月7日未明
- 翌日8日の初動段階から、**男女共同参画課の職員が市災害対策本部に常駐**
- 災害対策本部に集約される被災状況や避難所の情報を常駐している職員が課に持ち帰り対策にあたった。
- 男女共同参画課では、課の判断で、**混乱していた避難所に入り、男女共同参画の視点を活かした被災者支援を行った**

[男女共同参画課の主な活動]

- 避難所におけるニーズの聞き取り
- 性犯罪防止及び相談窓口周知
- 物資の調達と配布
- セクシュアル・マイノリティの方々への配慮

[効果]

早期から女性の視点に立った取組を行うことで、避難所の環境改善につながった

<避難生活段階>

避難所の運営

あなたは、避難所に派遣されることになりました。

上司からは

「避難所には様々な人達がやってくる。
一人ひとりの要望に配慮して対応せよ」
との指示がありました。

1週間

避難生活の長期化が見込まれます

Q

住民が主体となった運営が始められたが、避難者はずいぶん和我慢しているよう…

!

仮設トイレが**男女別になっていない**。
体育館(居室)からトイレは**離れていて**、
照明もなく**夜は真っ暗**。
和式トイレばかりで、
子供や高齢者には使いづらい…

!

物資担当者が男性なので、
下着や生理用品などが
受け取りづらい…

!

プライバシーを守れる
間仕切りがない。
夜、安心して眠れない

!

男女別の**更衣室も**
授乳室もない。
安心して
着替えも授乳も
できない…

!

避難所運営組織の
役員は男性ばかりで、
要望が伝えづらい…



男女共同参画センターから、これまでの災害では避難所で女性や子どもへの暴力が多数発生しているとの情報が入りました



夜になると男の人が、毛布の中に入ってくる。それを相談した周りの女性は「若いから仕方ないね」と見て見ぬふり。助けてくれない。
(20代女性)



授乳しているのを男性にじっと見られる。(30代女性)



避難所で(成人男性から)キスしてと言われた。トイレまでついてくる。着替えをのぞかれる。
(6~12才女子)



震災前からDV被害にあっていた女性が、震災のときに夫とは違う避難所に逃げた。しかし、夫が探しに来て、見つかってしまった。

あなたはどうか対応しますか？

一旦、動画を停止し、ワークに取り組みましょう

19 「避難所の開設・運営」の取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

- 管理責任者に、**女性と男性の両方を配置**する。
- 避難者の自治的な運営組織に、**女性の参画を促す**。
- 「避難所チェックシート」**を活用し、巡回指導を行う。
- 避難所の生活ルール作りを行う際には**女性の意見を反映**する。
- リーダー、食事作りや片付けなど、特定の活動が特定の性別に偏るなど、**役割を固定化しない**よう配慮する。
- 避難者名簿に個人情報の開示・非開示についての本人確認の欄を設け、**個人情報の管理を徹底**する。

20 「避難所の環境整備」の取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

- プライバシーの十分に確保された**間仕切り**により、**世帯ごとのエリア**を設ける。
- トイレ・物干し場・更衣室・休養スペース・入浴設備は、**男女別**に設ける。**授乳室**を設ける。**昼夜問わず安全に安心して利用**できるよう配慮する。
- 女性用品の配布場所**を設ける。
- 女性用トイレの数**は、男性用よりも**多く**する。多目的トイレも設置する。
- 運営体制への女性の参画**を進める。

26 「避難所の生活環境の改善」の 取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

- **避難所チェックシートを活用し、女性と男性のニーズの違いにきめ細かく対応できているか、継続的に、確認する。**
- 女性職員や女性の応援職員、男女共同参画担当部局や男女共同参画センターによる**巡回指導**を行う。
- 男女共同参画担当部局や男女共同参画センターは、**女性団体等と連携**を図りながら、**様々な女性の不安や悩みの相談対応**を行う。

ガイドライン「避難所チェックシート」の活用

第3部の「便利帳」には、平常時・災害時に活用できる情報が掲載されています

「避難所チェックシート」を使って、運営管理や避難者へのヒアリングを実施し、生活改善を促進しましょう！

便利帳

避難所の見守り・相談ポスター

困ったことがあったら
なんでも相談してください

例えば…

- ※ 眠れない
- ※ 授乳がおちついてできない
- ※ 遠慮やガマンはしないでね!
- ※ 体調が悪そうな人がある
- ※ 子どもの様子が心配
- ※ 子どもや高齢者の一時預け先がない
- ※ キケンを感じた etc

あなたの相談が、他の方の助けになるかもしれません

【文例】

- ① 避難所の相談窓口は〇〇です。
- ② 〔要時〕を避難所内に掲示していますので、ご確認ください。
- ③ 受付係の相談コーナーに避難者の苦情が掲載されています。
- ④ ネットから苦情を相談できるシステムが導入されています。
- ⑤ 男女、性別にかかわらず相談できます。
- ⑥ 以下の相談窓口をご利用ください。
- ⑦ 〇〇市社会福祉センター 電話 XXX (XXXX) XXXXX
- ⑧ DV 相談ナビ (調停りの電話専科相談センターにつながります)
- ⑨ 0570-552110 (どこにでもd)
- ⑩ 警察の相談窓口(警察相談センター)に連絡してください (地元自治体の警察の窓口になります)
- ⑪ #110 (ハートさん)
- ⑫ チャイルドホットライン (18歳までの子どもが対象) 電話 XXX (XXXX) XXXXX
- ⑬ 〇〇市保健センター 電話 XXX (XXXX) XXXXX

出典：特定非営利活動法人 東京都生活協同組合連合会 <http://tjkan.jp>

便利帳

女性の視点からの空間配置図

レイアウト例 (学校などの場合) 避難所避難所運営マニュアル 資料集

出典：東京都生活協同組合連合会 東京都生活協同組合連合会 (平成 30 年 3 月)

便利帳

避難所チェックシート

確認日： _____ 確認者： _____

① 避難所のスペース

プライバシー	<input type="checkbox"/> 授乳室 (椅子、授乳用の枕やクッション、おむつ替えスペース) がある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースがある <input type="checkbox"/> 男女別更衣室、男女別休養スペースが離れた場所にある <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションがあり、その高さや大きさなどが、プライバシーの保護の観点から、十分である
要配慮者	<input type="checkbox"/> 適切な通路が確保され、段差が解消されている <input type="checkbox"/> 乳幼児のいる家庭用エリアがある <input type="checkbox"/> 介護・介助が必要な人のためのエリアがある <input type="checkbox"/> 単身女性や女性のための世帯用エリアがある <input type="checkbox"/> 女性専用スペース (女性用品の配置・女性相談) がある <input type="checkbox"/> キッズスペース (子供たちの遊び場・勉強・情報提供) や保育エリアがある <input type="checkbox"/> 足腰が悪い人のための寝具 (段ボールベッド等) が提供されている
トイレ	<input type="checkbox"/> 安全で行きやすい場所に設置されている <input type="checkbox"/> 女性トイレと男性トイレは離れた場所にある <input type="checkbox"/> 女性トイレ：女性用品・防犯ブザーの配置、仮設トイレは女性用を多め <input type="checkbox"/> 男性トイレ：尿取りパット等の配置 <input type="checkbox"/> 多目的トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 洋式トイレが設置されている <input type="checkbox"/> 屋外トイレは暗がりにならない場所に設置されている <input type="checkbox"/> トイレの個室内、トイレまでの経路に夜間照明が設置されている <input type="checkbox"/> トイレに錠がある
入浴施設	<input type="checkbox"/> 安全で可能な限りバリアフリーに対応した入浴施設がある <input type="checkbox"/> 男女問わず一人で (又は付き添いを受けながら) 入浴できる施設がある
安全	<input type="checkbox"/> 避難所の危険箇所や死角となる場所の把握・立入制限がされている <input type="checkbox"/> 間仕切り・パーティションが高い個室の定期確認がされている
その他	<input type="checkbox"/> 各部屋に部屋札 (ピクトグラム、やさしい日本語) が設置されている <input type="checkbox"/> 掲示板による情報提供 (インターネットが使用できない人・情報が届きにくい人向け) がされている

57

18 「女性に対する暴力の防止・安全確保」 の取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

- 性暴力・DV防止に関するポスター等を掲示する。
- トイレ・更衣室・入浴設備を適切な場所に設置し、照明や防犯ブザーで安全を確保する。
- 避難所の巡回警備は男女ペアで行う。
- 女性用トイレや女性用更衣室には女性が巡回する。
- 女性相談員や女性専用相談窓口を設置する。

好事例 福岡県朝倉市 女性の視点からの避難所運営

「避難所運営チェックリスト」を用いて避難所を巡視・改善
声の上げにくい人のニーズを拾いあげるために、避難所の
トイレに**意見箱**を設置

- ガイドラインの「避難所チェックリスト」を活用して、各避難所を巡視
- 県内外の男女共同参画センターからの助言・支援・情報を受け、避難所のトイレ等に**意見箱「みんなの声」**を設置
- 週2回の頻度で回収にまわって、意見をまとめて、**避難所に改善依頼**

コツ

日頃から交流のある福岡県男女共同参画センターをはじめ、全国の男女共同参画センター等から、助言や情報が多数寄せられ、支援活動に生かした



意見箱「みんなの声」

女性更衣室はあるのに、男性はトイレで着替えている

生理中でお風呂に入れない

消灯時間が遅すぎる

【効果】

「非常時は皆大変だから、これぐらいは我慢しなくては…」と思いがち。避難者が個人の悩みや要望があげづらい状況を改善することで、避難所の運営や環境について見直しを行うことができた

好事例 熊本市男女共同参画センターはあもにい

全国の男女共同参画センターからの情報をもとに、地震発生直後から**避難所キャラバン**を開始

【避難所キャラバンの活動】

- 避難所チェックシートを使った避難所環境の改善活動
- 性暴力・DV防止啓発活動

など



チェックシートを使って
避難所でのヒアリング・確認



性暴力・DV防止の
啓発活動

【効果】

更衣室や授乳スペースなどプライバシーに配慮した環境改善が進んだ。女性用品の配布方法も見直された。



更衣室の「使用中」
の表示を依頼



生理用品の配布方法
の提案

コツ

発災後すぐに全国女性会館協議会の「相互支援システム」を利用して、全国の男女センターとつながった

<復旧・復興段階>

生活再建のための生業や就労回復

あなたは、復興対策本部の担当者です。

被災した住民たちは、
失ってしまった 住宅、仕事・収入、
心身の健康、つながり、そしてまちを
取り戻していかなければならない。

行政として、誰一人取り残されないよう
関わっていく必要がある。

発災後2か月

罹災証明書の交付が開始され
被災者の生活再建支援や
応急仮設住宅の建設・入居が
進められている

Q

女性は非正規雇用で働く場合が多く、解雇の対象となりやすい
しかも一度離職すると、育児・介護と仕事との両立が一段と難しくなる…

!

パートをしていたが、震災で経営が悪化して、辞めさせられた

!

子供の預け場所がない。
女性が働くためには子供の預け場所の確保が必要

!

がれき処理などの肉体労働の求人はたくさんあるが、
中年で、体が弱く、技術もない私にできる仕事はみづかりにくい

!

母子家庭で、事務職の仕事をしていた。震災後は事務職の仕事がなくなった。平日で夕方までの仕事は見つからない

あなたはどうか対応しますか？

一旦、動画を停止し、ワークに取り組みましょう

34 「生活再建のための生業や就労の回復」 の取組ポイント

取組主体： 都道府県 市町村 男女共同参画センター 市民団体

復旧・復興時

- **女性の雇用**を通じて被災後の人口減少を抑制し、復興の促進やコミュニティ維持を図る。
- 子供や介護を必要とする高齢者の預け先の早期確保、仕事と家庭を両立しやすい職場環境の整備、**所得保障、雇用継続の取組**を行う。
- 雇用創出、職業紹介、職業訓練等を実施する際は、**女性が利用しやすい**ような工夫を行う。
- **雇用統計**を分析し、活用する。
- 生活再建の**支援制度**について、適切に**情報発信**する。

好事例 NPO法人石巻復興支援ネットワークやっぺす 生活再建のための生業や就労の回復

女性の力を復興まちづくりに活かすことを
目指して、**女性への就労支援・起業支援**

- 石巻市の母親を中心に女性への就労等を支援
 - ◆ 女性の自立に向けて、「**就労相談**」「**託児付き就労応援講座**」「**会社説明会**」を実施
 - ◆ 小さな子供がいるなど外で働けないお母さんたちに、企業と協働して、在宅でできる「**おうちしごと**」を提供
 - ◆ 各種専門家による「**創業に関する相談窓口**」を毎月開設
 - ◆ 企業の協力を得て、低家賃の「**インキュベーションオフィス**」の提供や「**経営アドバイス**」、「**チャレンジショップ**」等の創業支援
- 被災しストレスを抱える女性に対して自己回復力を向上させるスペシャリストを養成する「**人材育成講座**」の開催
- 女性活躍支援プログラム「GIFT」
 - ◆ 出産から子育てにより離職した女性の**仕事再開を目指す職業体験事業**



【効果】

女性のやる気やスキルを活かすため、就業や起業を支援する枠組みを作ることによって、**若い世代の人口流出防止や、地域の活性化につながった**

平常時からやっていないことは
災害時にはできません

平常時の備えに男女共同参画の視点を取り入れることが不可欠です

まず、ここから始める 平常時の備え

【必要な取組】

- 意思決定／現場への女性の参画
- 男女共同参画部局・男女共同参画センターとの連携
- 女性リーダーの育成と男性の理解促進

ねらい

- 平常時・災害時に、女性の視点に立った対策が実施できる組織への体制を強化する。

取組

平常時

災害時

参画

- 防災・危機管理担当部局の職員の男女比率を庁内全体の**職員の男女比**に近づける。

女性の視点から適切な支援をし、**女性の困難やニーズに的確に**応える。

育成
理解

- 庁内職員に対して、**ガイドラインを踏まえた防災研修・訓練等**を実施する。
- 防災研修・訓練は、防災・危機管理担当部局と男女共同参画部局・男女共同参画センターとが**連携して**実施する。

災害対応に携わる全ての職員が、**女性の視点からの災害対応の知識**を活かし、**質の高い被災者支援**が提供できる。

2 地方防災会議

3 地域防災計画の作成・修正

ねらい

- 平常時から女性の参画を拡大し、男女共同参画の視点からの防災対策を計画化して、平常時・災害時に実施できる組織にする。

取組

平常時

災害時

参画

- 地方防災会議の**女性委員の割合を3割以上**とすることを旨とする。
- 女性委員がゼロの場合は、**早期に女性委員を登用する**。
- 大学教員、医療・福祉関係の専門家(保健師、助産師、看護師、保育士、介護士等)、民生委員等の女性を委員に登用する。

地域防災計画に女性の視点に立った対策が取り入れられ、**男性が見落としがちなニーズに対応**できる。

参画

- 地域防災計画に男女共同参画部局や男女共同参画センターの**役割を位置づける**。

初動段階から、**女性の視点に立った情報提供、問題提起**ができる。

連携

コツ

- 庁内の女性管理職に加え、市内の大学の学識経験者、医療分野、ライフライン関係事業所、女性消防分団、災害ボランティア団体等に防災委員への就任を要請(三重県鈴鹿市)

地域防災計画の記載例

仙台市 地域防災計画 「基本方針」

(3) 男女共同参画の視点を取り入れた災害対策

男女が共に個人として尊重され、いずれの活動においても、とりわけ意思決定の場面から参画する機会を確保するという男女共同参画の視点を取り入れることは重要です。各種対策を進めるに当たっては、それぞれの場面で女性の意見や声が正しく反映されるよう、その参画を促すとともに、性別等によるニーズの違いに対し十分配慮します。

特に避難所での避難者への対応、役割分担などは画一的になりがちで、ともすれば女性のニーズに対する配慮に欠けることも考えられますので、女性の視点を反映させた避難所運営を進めていきます。

【共通編】 第 1 部 総則 第 1 章 計画の考え方 第 3 節 基本理念及び基本方針

仙台市 地域防災計画 「男女共同参画センターの役割」

5. 女性支援センターの設置

市民部は、仙台市男女共同参画推進センター内に女性支援センターを設置し、専門相談窓口の一つとして女性のための相談窓口を開設するとともに、同センターを運営するせんだい男女共同参画財団と共に、被災女性のニーズの把握に努め、NPO 団体等との連携を図りながら、必要な対応を行います。

【地震・津波災害対策編】 第 1 章 自助・共助／第 9 節 広聴相談を利用する

ねらい

発災時に困らないよう、被災者のニーズの違いに配慮した物資を供給する仕組みを作る。

取組

平常時

- ガイドラインの「**備蓄チェックシート**」を活用し、**女性職員の参画**を得ながら、女性と男性の**ニーズの違い等を踏まえて品目を選定し、必要かつ十分な物資を備蓄**する。
- 輸送・流通等の関係団体や企業と必要な**協定を締結**する。
- 女性用品や乳幼児用品、衛生用品等について**住民の備蓄**を促す。

災害時

男性だけでは見落としがちな**ニーズに対応した物資を、必要量、提供**できる。

参画

連携

ねらい

地域の女性が主体的に役割を担い、積極的に活動できるよう支援することで、「共助力」を高める。

取組

平常時

災害時

参画

□ 防災・危機管理担当部局と男女共同参画担当部局・センターが**連携**し、**自主防災組における女性の参画**を促進する。

育成
理解

□ **性別による役割の固定や偏り**がないよう、自主防災組織内の活動分担に配慮する。

連携

□ 自主防災組織のリーダー研修会等で、**男女共同参画の理解**を促進する。

□ **女性リーダーの育成**を推進し、**リーダー同士の連携や情報共有**を図る。

初動対応、避難生活、復旧・復興の各段階で、**女性が地域を支える担い手**となり、**災害からの影響が軽減**される。

コツ

- 女性消防団、婦人防火クラブ、婦人会、PTAなどに参画の声掛け
- 会長などの要職に**原則男女1名ずつ**就任。**会議の開催時間**等も配慮
- 育成した女性リーダーと自主防災組織をマッチングするなど、**女性の活躍の場を提供**

ガイドライン 「平常時の備え」

第2部「平常時の備え」には、平常時に取り組むべき各種事項と、取組ポイントや事例が掲載されています！

<平常時の備え>

- 1 職員の体制と研修
- 2 地方防災会議
- 3 地域防災計画の作成・修正
- 4 避難所運営マニュアルの作成・改定
- 5 応援・受援体制
- 6 物資の備蓄・調達・配布
- 7 自主防災組織
- 8 災害に強いまちづくりへの女性の参画
- 9 様々な場面で災害に対応する女性の発掘
- 10 女性団体を始めとする市民団体等との連携
- 11 防災知識の普及、訓練
- 12 マイ・タイムラインの活用促進
- 13 男女別データの収集・分析

<まず始めたい「平常時の取組」チェックリスト>

- 防災・危機管理担当部局には、女性職員が十分いますか？
- 庁内職員に対して、ガイドラインを踏まえた防災研修・勉強会等を実施していますか？
- 防災研修・訓練は、防災・危機管理担当部局と男女共同参画部局・男女共同参画センターとが連携して実施していますか？
- 地方防災会議の女性委員の割合は3割以上を達成してますか？
- 地域防災計画に、男女共同参画担当部局やセンターの役割を位置づけていますか？
- 備蓄物資の準備に「備蓄チェックシート」を活用していますか？女性職員は参加していますか？
- 物資を供給するために協定締結や住民備蓄に取り組んでいますか？
- 自主防災組織における女性の参画を進めていますか？
- 自治会長などの地域の有力者や各組織の長である男性に対して、女性の視点に立った防災について理解の促進を図っていますか？
- 女性消防団、婦人防火クラブ等の地域に根ざした組織や団体の長となる女性リーダーの育成を行っていますか？
- 女性リーダー同士の連携や情報共有の場を提供していますか？

まとめ

- 防災・復興に関する意思決定や、防災の現場に女性が**参画**する
- 男女共同参画担当部局・男女共同参画センターと**連携**する
- 女性の防災リーダーの**育成**と男性への**理解促進**を図る

平常時・災害時に
あらゆる防災施策に男女共同参画の視点を入れる



被害全体が縮小する、災害に強い社会が作られる!